

## 化学物質管理

### 総合的な化学物質管理

東京エレクトロングループでは、健康や環境への重大な影響を未然に防止するため、化学物質の有害性のリスク評価を実態把握に基づき行い、生産に使用される化学物質および製品に含まれる化学物質の適正管理に取り組んでおり、各事業所では化学物質の導入時に行う審査、登録システムを構築して運用しています。

### PRTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律)への対応

PRTR法は1999年に「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の促進に関する法律」として公布され、2001年4月から施行されPRTR対象物質の物質収支の管理が必要となりました。東京エレクトロングループでは、各事業所において2000年度PRTR対象物質の調査を行い、グループ全体の取り扱い物質は35種となりました。現在は各事業所において、PRTR対象物質の取扱量や排出量等の把握および管理を行っています。

\*PRTR (Pollutant Release and Transfer Register)

### 化学物質の使用量削減についての取り組み事例

佐賀事業所では、洗浄装置の生産工程内の蒸気乾燥装置検査において、イソプロピルアルコールの使用全廃を達成しました。また、塗布現像装置の生産工程においてイソプロピルアルコールの使用量削減を行い、純水への置き換えを実行して装置原単位当たり66%の削減を達成しました。

### MSDSデータベースの構築

各事業所で化学物質の導入時に審査、登録システムを構築して、MSDSの管理および運用を行っていますが、グループ全体でもMSDSの管理および運用を行えるように、イントラネットによるデータベースの構築を進めてきました。

現在は東北、相模、佐賀、熊本、合志の5事業所で使用する、およそ500物質のデータベース化が終わり、その他の事業所についてもデータベースの構築を進めています。

MSDS (Material Safety Data Sheet): 製品安全データシート

